

行政視察報告書

令和 7 年 4 月 28 日

長浜市議会議長 高山 亨 様

長浜市議会議員 村山さおり



私が出席した次の行政視察の結果について報告します。

記

1. 視察等名 高岡市・飯綱町 行政視察
2. 視察期間 令和7年4月22日(火)～4月23日(水)
3. 視察場所及び目的
 - ① 富山県高岡市 ・空き家対策 について
 - ② 長野県飯綱町 ・廃校活用 について

4. 調査内容感想等

・視察の目的

高岡市：少子高齢化が進む中、増え続ける空き家の対策について

飯綱町：廃校を利用した地域活性化について

・視察の内容

高岡市：人口減少と世帯増加という、当市と同じような状況の高岡市は、コンパクトシティ化のために、居住誘導区域を設け、そこへの移住や改築の補助を手厚くしている。街中にはうなぎの寝床状態の空き家、空き地も多く、隣地の取得にも補助金を出して移住、定住を促している。また、空き家活用推進協議

会を設立し、不動産業者や司法書士会や建築士会等民間にも協議会に入っていた
だき連携されていた。月に二回の定例相談会、年に一度の特別相談会を実施
して、市民からの相続や空き家の除却について等の相談を受けている。さまざ
まな連携や顔の見える相談という機会が市民の安心につながり、空き家の活用
促進につながっている。

飯綱町：2つの廃校を1つの企業がそれぞれの特色を持って運営されていた。
1つは仕事の交流創出施設。近隣地域や都市圏との交流を促進するため、プロ
フェッショナル人材の地方還流、しごと作りを促すような学びのプログラムと
ともに地域内街の幅広い人々と自由に交流、創発が起こるような拠点を整備す
ることで、企業や雇用を地方へと促すことを進めている。

もう一方は自然健康体験交流施設。町の魅力である自然の中での豊かな暮らし
や観光資源を最大の要素と位置づけ、自然・スポーツ・健康をテーマにさまざ
まな体験事業を展開し情報発信していくことで、町への観光誘客や交流・関係
人口増加につなげていくことを進めている。

・行政視察の結果を本市にどのように反映させるか

高岡市：多世代同居が減少し空き家も増加する一方であるが、気候風土にあっ
た空き家の魅力を空き家バンクで情報発信すると同時に、移住定住を進める
意味でも高岡市のように補助金の項目を細分し使い勝手のいい補助金にできな
いか。また、民間の協力を得て専門家による相談会は、相談できる相手がおら
れない方にとっては安心できる事業なので実現できないか。

飯綱町：当市でも今後進んでいく学校の統廃合だが、飯綱町でも地元住民の反
対はあったそうだが、閉校前から活用することを決めて、廃校翌年には会社設
立。その翌年には一箇所目がオープンしている。地元企業が会社を設立し、地
域住民も巻き込んだ拠点になることは意義が大きいと思う。当市でも早い段階
で空いた校舎をどうしていくのかを平行して考え、地元住民に有益な活用方法
を模索できたらと考える。